

# 目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[低い SBRS メール サーバを識別して下さい](#)

[ESA によって低い SBRS メール サーバを許可して下さい](#)

[関連情報](#)

## 概要

この技術情報は E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) を通して悪い SenderBase 評判スコア ( SBRS ) を持つメール サーバを識別し一時的に許可する方法を記述します。

## 背景説明

送信側評判フィルタリングはスパム 保護の最初の層で、SBRS によって判別されるように送信側の信頼性に基づいて電子メール ゲートウェイを通して来るメッセージを制御することを許可します。 悪い SBRS の電子メールサーバは、か拒否されるユーザー設定に基づいて、接続跳ねられるメッセージがある場合があります。

## 問題

メール サーバは ESA にサーバの接続によって悪い SBRS および電子メールが受け取った 554 SMTP 応答が遅らせられた原因であるので接続し、報告されます。

サンプル 554 応答:

## 解決策

### 低い SBRS メール サーバを識別して下さい

グラフィカル ユーザ インターフェイス ( GUI ) のメッセージ トラッキングが拒否された接続をデフォルトで記録しないので Command Line Interface ( CLI ) を使用して下さい。

注拒否された接続のトラッキングは GUI > Security サービス > メッセージ トラッキング > イネーブル「拒否された接続処理で」有効に することができます

そのドメインに対してすべての関連ロギング データを引っ張るためにドメインに対してグレップを使用して下さい。 この出力に関しては、使用されるドメイン例は *test.com* です:

それからグレップ メールホスト 情報を得る着信接続 ID ( ICID )。 ICID は使用されますすべての情報を明らかにするために記録しています ( 以下を参照 ): ホスト IP アドレスを送信して、DNS はホスト名 ( もし可能であれば )、sendergroup 一致および関連する SBRS スコアを確認し

ました:

## ESA によって低い SBRS メール サーバを許可して下さい

1. GUI から、ポリシー > 帽子外観を郵送するためにナビゲートして下さい。
2. 『Add』 をクリックして下さい送信側 グループを...
3. わかりやすい名前を用いる送信側 グループを挙げて下さい。
4. ブラックリスト送信側 グループの上にあるように順序を選択して下さい。
5. 受け入れられるか、または絞られるメール ポリシーを選択して下さい。
6. 他のフィールドをすべてブランクのままにして下さい。
7. 送信側を 『SUBMIT』 をクリックし、追加して下さい
8. grep コマンドからあるように-影響を受けたホストの... IP アドレスか DNS ホスト名を追加して下さい。
9. [Submit] をクリックします。
10. 帽子外観を検討し、新しい送信側 グループが正しく発注されるようにして下さい。
11. 最終的には、すべてのコンフィギュレーション変更を保存するために託しますをクリックして下さい。

送信側 アドレスに関しては、次の形式は許可されます:

- 2001:420:80:1::5 のような IPv6 アドレス
- 10.1.1.0 のような IPv4 アドレス
- 10.1.1.0/24 のような IPv4 または IPv6 サブネット、2001:db8::/32
- 10.1.1.10-20、10.1.1-5、または 2001:db8::1-2001:db8::10 のような IPv4 または IPv6 アドレス範囲
- example.com のようなホスト名
- .example.com のような部分的なホスト名。

*test.com* で終了する他のどのメール サーバ 情報も許可するために、上に示されているように例ではこれはで設定されよう:

## 関連情報

[Cisco SenderBase について](#)